

丹波篠山市公民館だより 第41号 四季の森通信

発行元
丹波篠山市立中央公民館
丹波篠山市網掛429
TEL 079-594-1180
館長 谷掛 昭二
令和2年6月19日

Topics =注目の出来事=

【今田グラウンド改修工事完成！ 竣工式とこけらおとし(記念試合)を開催！】

今田グラウンドは、昨年9月から、バックネットなどの老朽化による改修工事を行ってきましたが、ようやく完成し、2月24日に竣工式を行いました。

当日は天候にも恵まれ、市議会の森本議長、大上議員、今田地区自治会長の皆さん、利用団体の皆さんが参列され、晴々しく行われました。



↑竣工式典の様子



↑始球式の様子

式典終了後には、今田少年野球クラブと味間少年野球団による記念試合を行い、始球式では、森本議長の投げた高めのボールを酒井市長が飛びついて打ち返すという場面もありました。試合は白熱した展開となり、竣工式に華を添える内容となりました。

今田グラウンドは今、改修前と同様に、グラウンドゴルフやサッカー等でも使用できます。みなさまのご利用をお待ちしています。

※スポーツ振興くじ(toto)助成金を活用し、今回の工事を行いました。

【利用申し込み・お問い合わせ】今田支所公民館係 ☎597-3111

【丹波篠山市B&G海洋センター体育館 リニューアルオープン！】

本年4月1日より丹波篠山市B&G海洋センター体育館は改修工事を終え、リニューアルオープンしました。昭和58年以降、現在に至るまで多くの皆さんにご利用いただいた体育館も老朽化に伴って、設立以降はじめての大規模改修を行い、これまで以上に快適にご利用いただけるようになりました。

外壁を塗り替え、照明機材や空調設備、多目的トイレやスロープなどを新たに設置しました。

ささやま子育てふれあいセンターも同体育館内で活動しています。

今までに利用したことがない方も、ぜひ一度お越しください。

※公益財団法人B&G財団修繕助成金を活用し、今回の工事を行いました。

【利用申し込み・お問い合わせ】 城東公民館 ☎556-3171



【第8回ご当地温泉卓球全国大会inこんだ薬師温泉ぬくもりの郷 開催延期のお知らせ】

当初7月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、開催延期となりました。なお、開催が決まりましたら改めてお知らせいたします。

募集

川柳

第33回

お題「五輪」 北澤 稠民 選

応募数 13名24句

今号から「川柳さくらやま」の北澤稠民先生に選者を務めていただきます。

最優秀句

評価ポイント*以下(評ボ)

五輪まで延命続け二度目待つ

打坂 坂下悦治

優秀句

(評ボ)強い意志が命の花を咲かせます。そのときとコロナは退散しています。

苦難経て歓喜の五輪語り継ぐ

杉 内山俊朗

(評ボ)開催までの国民・選手の苦勞こそが歓喜を呼ぶと思います。

想定外五輪保険が見当らぬ

油井 酒井昌宏

(評ボ)鬱な世間を何故かほっとさせてくれます。

限りある命よせめて五輪まで

桑原 太治野みゆき

(評ボ)「せめて」など言わずいつまでも頑張ってください。

次点

・五つの輪平和も運ぶアスリート
・一年も散らずに保つか五輪の花

総評

コロナ禍による五輪の延期。立ち向かう命の尊さを記事に読まれた句が多く、印象的でした。

次号のお題「エール」7月17日×切

中央公民館・城東公民館・多紀支所・西紀支所・今田支所まで持参・郵送・FAXでご応募ください。一人2句まででお願いします。

一生勉強一生青春 Vol.30

青葉 聡示 さん (東吹)

自分のカラーを確立するため日々研鑽！

陶芸作家として、自分のカラーを確立するため日々研究を重ねておられる青葉さん。出身は愛媛県。愛知県の窯業職業訓練校で陶芸を学ばれ、2012年に丹波篠山へ。7年間市内の陶房で修行された後、東吹に自分の陶芸工房「AOBA POTTERY」(アオバポタリ)を構えられました。

陶芸を始めたきっかけは、陶芸家である祖父と父親の影響もありますが、本来器が好きで、特に昔の器はかっこいい!と思ったからです。こんな器を自分で作れたらいいなと思っていました。

今は特にイギリスのスリップウェア(※)の魅力にはまり、同じような美しい作品を作れたらと、勉強中です。

器を作るうえでのこだわりは、その使い易さ。使い易く料理が映えるような器を目指しています。一番の研究どころは、釉薬の調合。石や灰などを粉にして調合しますが、その微妙な配合具合によって透明度や色、質感に影響します。配合比は無限にあるので、自分の理想の作品に仕上げることは非常に難しいです。でも、それを成し得ることにより作家としての自分のカラーを確立できるので、とても大切な作業です。何十回何百回、何度も試しながら追及しています。私の作った器でおいしく食べて笑顔になってもらえたら最高です。

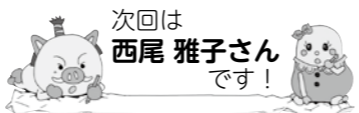
(※)スリップウェア…ヨーロッパなど世界各地で見られた、古い時代の陶器の一種。器の表面をスリップと呼ばれる泥漿状の化粧土で装飾する方法が特徴。



編集後記

今号から「四季の森通信」の編集に参加しています。季刊ですが、公民館からの情報発信ツールとして皆さんに役立つ紙面を提供していきたいと思っています。ところで、新型コロナウイルス感染症防止で、5月から始まる予定だった高齢者大学や各文化・料理講座の開講、各種団体の活動が延期となってしまいました。受講や活動を心待ちにされていた皆さんには、大変心苦しく思っています。担当者もせっかく準備した講座を皆さんに提供できず残念な思いでいます。新米の私も仕事や段取りを実地で覚える機会がなくなってしまいました。この後記を書いている時点では新型コロナウイルス感染症の終息はまだわかりませんが、無事再開でき、皆さんにお会いできることを楽しみにしています。それまではステイホームで!(安)

次回は 西尾 雅子さん です!



次のバトンはこの人に託します!

次回は 西尾 雅子さん です!

通学中や外で遊んでいる子どもたちを守りたい！

↑子どもを守る家のイラスト



Q、このプレートを知っていますか？

これは、平成12年に当時の篠山市青少年健全育成推進協議会によって作られた「子どもを守る家」を示すプレートです。通学中や外で遊んでいる子どもが不審者と遭遇し、身の危険や不安を感じた時の緊急避難場所の目印として掲げられています。子どもたちは地域の「子どもを守る家」に助けを求めることができ、また不審者への抑止力としての機能があります。

Q、どんな家につけられているのでしょうか？

「子どもを守る家」は各地域で任意に登録いただいた一般家庭とお店等です。“子どもたちを地域で守る”ことにご協力いただきつけていただいています。今では、約1,270軒のご家庭に登録いただいています。

Q、なぜ「子どもを守る家」は誕生したのでしょうか？

日本で陰湿な『いじめ』が発生し大きな社会問題として騒がれていた頃、ある噂を聞くようになりました。「変なおじさん」が現れたのです。そのおじさんは、あるところでは裸体を

さらし、あるところではお菓子をあげるから一緒に行こうと子どもを誘い、あるところでは道に迷ったふりをして子どもに近づきました。

そんな「変なおじさん」から子どもたちを守ろうと当時篠山市青少年育成センターに勤務していた小林弘二さんを筆頭に住民が立ち上がり、作られたのが「子どもを守る家」でした。

=小林さんのお話=

当時の篠山市は子どもを育てる環境は、今ほど整っていませんでした。地域の宝である子どもたちが危険にさらされていると思うと、いてもたってもいられなくなり、地域の宝なら地域で守ろうと思い「子どもを守る家」を作りました。でも、なかなか一筋縄ではいきませんでした。アンパンマンのイラストを使用するにしても著作権の許可を取るのに苦労しました。また、同時期に起こった有害図書自動販売機の撤去作業とも重なっていたので、大変な毎日でした。同僚からも、そんなに大変ならやめたらどうやと何度も言われました。でも、子どもたちを守ることに手を抜きたくなかったんです。したたかな相手でしたが、1年で撤去する事ができました。今では、諦めずに「子どもを守る家」を作ることができてよかったと思います。



↑「子どもを守る家」の創設に関わった小林弘二さん

今、丹波篠山市に1,000軒を超える「子どもを守る家」が存在するのは小林さんをはじめ地域の皆さんの協力があったからこそと思います。しかし、登録者の高齢化に伴い、「子どもを守る家」の登録者数は年々減少している地域もあります。今こそ「子どもを守る家」の登録者を増やし、我が子や地域の子どもたちを守りましょう！

お問い合わせは、各公民館または社会教育課まで。

登録者のリアルなお話

「子どもを守る家」に登録いただいている井上尚和さんにお話を伺いました。

Q、登録のきっかけは何ですか？

A、公民館で仕事をしている時に「子どもを守る家」の存在を知ったことでした。当初は共働きだからと躊躇していましたが、登録しプレートを掲げているだけでも「犯罪を未然に防ぐ抑止力」になると知り登録しました。

Q、実際に実感できる効果は何がありますか？

A、登下校中の子どもたちが元気にあいさつしてくれるようになったことですね。



↑井上尚和さん

福住駐在所の江副永一郎さんと日置駐在所の宮本清輝さんにお話を伺いました。

Q、「子どもを守る家」についてどう思われますか？

A、子どもたちが避難できる場所があるのはありがたいです。地域の皆さんに普段から目を向けてもらっていると感じます。

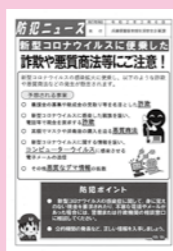
Q、「子どもを守る家」はどんな犯罪の抑止力になっていると思いますか？

A、どんな犯罪の抑止力にもなります。今は新型コロナウイルス感染症関係の詐欺が増加し、自宅まで来るケースがあります。在宅のお子さまだけで対応されないように注意してください。

どんな些細な事でも構いませんので、駐在所に来て下さいね！



↑宮本さん(左)と江副さん(右)



Info =公民館からのお知らせ

まずは一步！ ご興味があれば是非公民館へお問合せください。

丹波篠山市成人式実行委員募集！ ～自分たちの成人式を プロデュースしてみませんか？～

平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれの新成人の方で成人式の企画・運営を、「よし、自分がやってやる！」「自分で成人式を作りたい！」と意欲のある方を男女問わず募集しています。

また、お子様やお知り合いに新成人の方がいらっしゃいましたら、お声掛けください！

本年度は令和3年1月10日(日)に成人式開催を予定しています。



↑昨年度の成人式の様子

実行委員や成人式に関するお問い合わせは、城東公民館 ☎556-3171 (内藤、三輪)にお問い合わせください。

公民館職員に 新たな仲間が加わりました！！

趣味は書道で、香環会に所属しており、来年の4月3日辺りに、お菓子の里丹波で丹心会書道展をします。書道に興味のある方は是非見に来てください。



↑城東公民館 肉藤正盛



↑中央公民館 安原 稔

3年前に40数年離れていた丹波篠山に戻ってきました。市民のみな様に愛され、喜ばれる公民館の仕事をしたいと思っています。「ちっちゃいおっさん」が中央公民館で待っています。

小さな茅葺きトタンの家で犬と猫と一緒に少しの野菜を育てながら暮らしています。日々の暮らしが穏やかで楽しくなるようなお手伝いが出来たらと思っています。



↑中央公民館 小牧 直子

これからも公民館をよろしくお願い致します！

第13回 篠山のむかしばなし実物写真館



疫病退散！
怒らせちゃ
ダメだよ。



※左：牛頭天王の掛け軸 波々伯部神社所蔵

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。娑羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。」これは「平家物語」の冒頭の一文です。ここにでてくる「祇園精舎」とは、お釈迦様が開かれた修行場で、その門番をしていたのが牛頭天王だといわれています。牛頭天王は大変気難い神様で、ひとたび機嫌を損ねると疫病や厄災を巻きおこし、機嫌をなだめると、それらを平定すると言われる「気分屋さん」です。平安時代に京の都に蔓延した疫病や各地で起こる天災を牛頭天王を鎮める事で平定しようと始まった「御霊会」が「祇園祭」の起源とされています。コロナ禍の中、各地でさまざまなイベントが中止や延期になりました。千年以上の歴史をもつ京都の「祇園祭」もその一つです。牛頭天王をお祀りし「丹波の祇園さん」と親しまれている「波々伯部神社の祭礼」も例外なく本年度は宵宮(8月1日)本宮(8月2日)ともに中止となりますが、神事については、粛々と実施されます。

第13回 ささやまあるある 博覧会

ちょちけがあるから、ほたえられる

コロナ禍の中、Stay Homeが長引くにつれて、どんどん気持ちが「ちょちける」一方だったのではないのでしょうか？

「ちょちける」のは、親や先生に叱られた子どもや失恋した若者も、パチンコに負けたお父さんも、みんなそれぞれ「ちょちける」のです。「ちょちける」とは、「落ち込む」とか「気が滅入る」という意味で使われます。中には「ちょちけ」過ぎて「へんねし」を起こす人もいます。そして「ちょちけた」状態の時に、周りからいろいろ言われるとついつい「へんねし」を起こしてしまうものです。その上「そないにへんねし起こさんと…」と言われようものなら、ちょっとやそつとでは立ち直れなくなります。

子どもを見ていても「ほたえて」いたと思えば「ちょちけて」いたり…と目まぐるしく状況は変わりますが、気が付けば成長しているものです。ついこの前まで「せいだいほたえて」いたのですから、「ちょちける」こともおかしくはないのです。

決して「へんねし」などは起こさないように、足元をしっかりと見て「ほたえられる」時を待ちたいものです。

(注、「へんねし」とは「すねる」とか「ごねる」「ほたえる」とは「さわぐ」「うかれる」の意)